

お求めいただく前に

- ワンボックス車で4輪とも普通タイヤの場合、2輪のみ装着した状態で走行すると、車の走行安定性が低下しますので、必ず4輪に装着してください。
- ミニバンやワンボックスのFF車では、車両の特性上、乗車人数が多い場合や重い荷物を積んでいる場合、急な上り坂では駆動輪(前輪)に荷重がかからず空転を起こす場合があります。
- 扁平タイヤの場合は、「本製品」の被りが、タイヤ幅に対して浅くなるため、連続空転による製品のズレが大きくなります。あくまでも緊急用としてご利用ください。
- タイヤ銘柄、摩耗度、空気圧、ホイールのリム幅等の条件によっては、適合サイズであっても装着しにくい場合があります。
- タイヤの上側とフェンダーのクリアランスが狭い車(ローダウン車や輸入車等)の場合は、ジャッキアップすることをお勧めします。

適合確認方法



本製品装着時は、時速40km以下で走行してください。
※チェーン規制時には現場係官の指示に従ってください。

1 実車のタイヤサイズを確認してください。

ここをチェック



タイヤの側面に書かれている数字を調べてください。

195 / 65 R 15

タイヤ幅 ※扁平率 ※ラジアル構造 ※ホイールインチ数

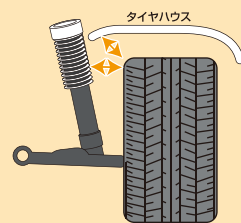
- ※扁平率が80の場合は省略されていることがあります。
- ※195R14と195/60 R14は異なるサイズを表しています。ご注意ください。
- ※ラジアルタイヤの「SR」「HR」「VR」等の表記はサイズとは関係ありません。

2 本製品を取り付けた時に車体に干渉しないことを確認してください。

※装着するタイヤ(駆動輪)とフェンダー、サスペンション、ブレーキホース等に本製品が干渉しないかを確認してください。

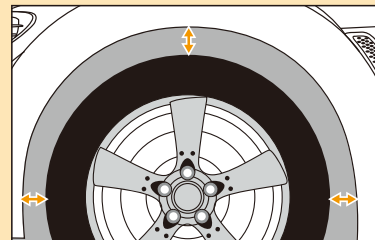
車体各部に干渉しないか、試走の際は窓を開けて干渉による異音がないか確認してください。各部の必要な隙間は20mmとなっておりますので、実車にて左右のタイヤで確認してください。

■タイヤ裏側のサスペンション等に対して、クリアランスが20mm以上



※FF車はハンドルをいっぱいに切って確認してください。

■フェンダー周りのクリアランスを確認



●特にタイヤ・ホイールを純正オプションや純正以外に変更している場合や、ローダウンをしている車の場合は、ノーマル車に比べてクリアランスが狭くなっていることが多いのでご注意ください。

- 本製品を装着していない状態でタイヤフェンダー周りに十分な余裕があるか、タイヤ裏側で20mm(手のひらが入る程度)のすき間があることを確認して使用してください。
- 前輪に取り付ける際には、ハンドルを左右にいっぱいに切った状態でも確認してください。

取り付け方法

※平らな安全な場所で、エンジンを止め、パーキングブレーキを引き車を停止します。(必ず手袋を着けて作業を行ってください。)



装着時イメージ

※本ケースを膝に敷いてお使いいただけます。

本製品の表側(布グリップ5か所縫付面)を確認し、タイヤ上部奥裏までかぶせます。

左右奥裏も、平均にかぶせます。

かぶせた布面が、タイヤの下の位置に来るまで、車を移動させます。

残りを奥までかぶせて、全体を整えます。安全の為、本製品と、車体の接触がないか確認し完了です。

装着後、低速で50mぐらい試走して正しく装着されているかを確認してください。



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取扱説明書 **ご使用前に必ず本取扱説明書を最後までご一読ください。**

ご使用时必ずお守りください

40

時速40キロ
以下厳守

急

「急」がつく
運転厳禁

空

空転厳禁

お買い求め後、雪道走行前に必ず左右両方の装着確認を行ってサイズが適合しているか車体各部と接触がないかご確認ください。

△ 適合品番においても車両との干渉がある場合、ご使用をおやめください。

△ 走行中異音が発生した場合、車体各部と干渉している可能性があります。そのまま走行を続けると車体各部や本製品の損傷につながり危険です。速やかに停車し各部の確認をしてください。

△ 本製品は乗用車専用です。

※シーズン中は、使用時に備えてこの説明書は必ず車に保管してください。

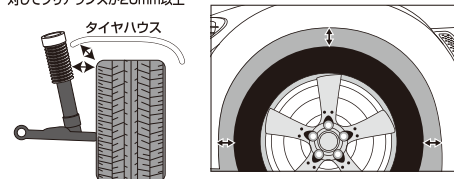
● 取り付け方法と取り外し方法及び注意 ●

本製品は繊維素材の緊急用滑り止めです。雪道等のチェーンが必要な場合に使用します。乾燥路面や不適切な環境で使用した場合、短時間で急激に摩耗しますのでご使用はお控えください。

- 必ず装着タイヤに適合したサイズであることをご確認ください。
- 適合タイヤサイズは純正装着のタイヤとホイールに装着したものを基準としています。
- 必ず駆動輪に装着してください。駆動輪については車に備え付けのマニュアルをご確認ください。特に4WD車の場合は、車に備え付けのマニュアルに従ってください。
- ご使用前に製品の状態を確認してください。キズ・固定ゴムの劣化がある場合、ご使用をやめてください。
- 本製品装着は、本製品の布グリップ部(5か所縫付面)側が、表側になるように注意して取り付けください。
- 停止時に、車体各部と本製品が干渉しなくても、走行時の遠心力で干渉する場合は使用をやめてください。

車体各部に干渉しないか、試走の際は窓を開けて干渉による異音がないか確認してください。

- タイヤ裏側のサスペンション等に対してクリアランスが20mm以上
- フェンダー周りのクリアランスを確認



※FF車はハンドルをいっぱい切って確認してください。

- 本製品を装着していない状態で、タイヤフェンダー周りに十分な余裕があるか、タイヤ裏側で20mm(手のひらが入る程度)のすき間があることを確認して使用してください。
- 前輪に取り付ける際には、ハンドルを左右いっぱい切った状態でも確認してください。
- 特にタイヤ・ホイールを純正オプションや純正以外に変更している場合や、ローダウンをしている車の場合は、ノーマル車に比べてクリアランスが狭くなっていることが多いのでご注意ください。

取り付け方法

※平らな安全な場所で、エンジンを止めパーキングブレーキを引き車を停止します。



1 本製品の表側(布グリップ5か所縫付面)を確認し、タイヤ上部奥裏までかぶせます。



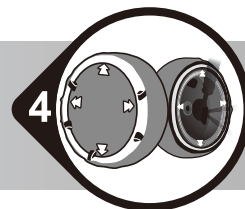
2 左右奥裏も、平均にかぶせます。



3 かぶせた布面が、タイヤの下の位置に来るまで、車を移動させます。



4 残りを奥までかぶせて、全体を整えます。安全の為、本製品と車体の接触がないか確認し装着は完了です。



5 装着後、低速で50mぐらい試走して正しく装着されているかを確認してください。

確認! 50mぐらい試走して、ズレやゆるみ、車体との接触の痕がないか必ずチェック!

確認! 試走の際は、窓を開けて異音がないか必ずチェック!

注意! 本製品を装着して走行した時、通常の舗装路と同じ安全性や走行性が約束できるものではありません。

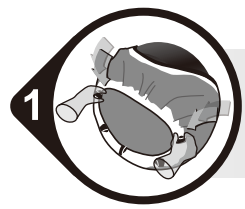
注意! 路面の状況によっては、「登れない」「止まらない」「曲がれない」こともあります。どんな条件でも安全に走行できる訳ではありません。

注意! 製品を装着していない車輪と装着した車輪との路面摩擦に差が生じますので、十分ご注意の上運転してください。

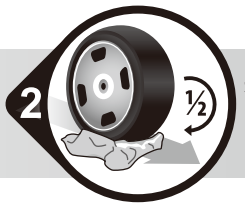
取り外し方法

雪道以外の場所では速やかに製品を外してください。また凍結のおそれがある場所で、装着したままの長時間駐車は製品と路面が固着し、破損の原因となります。

※平らな安全な場所で、エンジンを止めパーキングブレーキを引き車を停止します。



1 タイヤの上部奥に手を入れて、脱がすように手前下へ引き下ろし、5か所縫付面の布グリップを握り引き下ろします。



2 完全に地面に下ろし、ゆっくりと車を動かして完了です。



3 コンパクトに折り畳んで収納ケースへ入れてください。

裏面も必ずお読みください

冬の道は、刻々と状況が変わります。本製品を装着したからと過信はせず、安全運転を心がけてください。誤った取り付け方や取り付け場所で生じたいかなることも責任は負いかねますことご了承ください。

⚠ 走行中使用注意事項

スノーチェーンとは異なるため、高速道路でのチェーン規制時には通行できない場合がありますので、ご注意ください。

速度40km/h以下厳守

- 駆動輪(装着輪)2本と、遊輪(未装着輪)2本との間で、性能差が激しくなって車の安定性が損なわれ危険です。特に滑りやすい凍結したカーブや下り坂では、さらにスピードを落とし慎重に運転してください。
- 40km/h以上の走行は、遠心力により本製品が浮き上がり、車体の各部と接触し各部の破損や本製品の破損につながり危険です。

連続空転、急発進の禁止

- 内側巻き込み、本製品破れの最大原因です。大変危険ですので正しい使用方法にてお使いください。

急のつく運転操作の禁止・空転(空回り)の禁止

- 急発進、急加速(過度の空転)、急ハンドル、急ブレーキは本製品に「ズれる」「ねじれる」を発生させ、本製品の破損につながり大変危険です。

走行中異常音がしたらすみやかに停止・確認

- 何らかの原因(スピード、急がつく操作、空転、装着ミス等)で、本製品が「膨らむ」「ズれる」「ねじれる」を起こし車体各部に接触していると考えられます。放置すると「外れ」「切断」につながり大変危険です。ただちにスピードを落とし、安全な場所に止め異常音の確認をしてください。

車間距離を十分にとる／ブレーキロックは避ける

- 本製品を付けたからと過信せず、通常路より注意して運転操作をしてください。凍結した路面では、停止距離が短くなるポンピングブレーキが有効です。

坂道・カーブでの走行注意

- 登坂時の連続空転は避けてください。
- 下り坂やカーブではエンジンブレーキを使用しスピードをできるだけ落とし走行してください。
- 坂道での駐停車は避けてください。
- 凍結路面でやむを得ず停車し車から離れる場合は、安全のためタイヤ止めを必ず行ってください。車がスベり出す可能性があり大変危険です。

深雪での走行注意(空転禁止)

- 深雪はできるだけ避けてください。無理なアクセルワークや、脱出補助板の使用は空転して本製品を傷めますのでおやめください。

わだち路面での走行注意

- 思わぬ方向に車が動くことがあります。ハンドルをとられないように十分に注意し、低速で走行してください。

無雪路走行禁止

- 高い摩擦によって、本製品の寿命が短くなり、製品本体が破損する可能性があります。

砂利道等のオフロード走行禁止

- 本製品の寿命が短くなり、製品本体が切れる等破損することがあります。

片輪走行禁止／破れた時の注意

- 左右輪でのグリップに差がつき、車がスピンする等走行安定性が大幅に低下します。
- 走行中に、片側の本製品が破れたり破損した場合は、雪路、凍結路はその時点で走行することはできません。無理に脱出を図ると事故につながるケースがありますので、絶対におやめください。
- ご面倒でも、救援を頼むか、予め予備の本製品を準備しておく等、冬の道では万全の注意や備えをお願い致します。

⚠ 免 責 事 項

- 40km/hを超える速度での運転、連続空転、サイズ違い、誤った取り付け、急発進、急停止、急ハンドル運転での事故、故障及び、車体破損、本製品の破損につきましては、一切その責任は負いかねます。予め取扱説明書を最後までご確認ください。
- タイヤハウス及びサスペンションとの隙間が極端に狭い車や、リムのインセットが適切でない場合に取り付けられないことがあります。事前の装着確認が不十分で生じたトラブルには応じかねますのでご了承ください。
- サイズによっては、タイヤサイド部の摩擦及びホイールフランジへの接触による傷が発生する場合がありますので、予めご了承ください。
- 使用后、凍結及び積雪の可能性がある場所で、装着したまま放置しますと、路面と本製品が凍結により接着状態になります。そのまま発進すると車及び本製品を傷つけることとなります。そのような破損については責任は負いかねます。
- 商品の仕様及び外観はサイズにより若干異なる場合があります。また、予告なしに変更することがあります。
- 以下の場合には本体の寿命か、使用不可能です。
 - ・本製品本体のどこか一部でも破れていたり、裂けている場合。
 - ・裏側のゴムが露出している場合。
 - ・経年劣化により本体裏側のゴムが適正サイズより伸び、走行中に異音が生じ始めた場合。

保管方法

- 使用後はよく水洗いし、完全に乾燥させて収納ケースに入れて保管してください。その際本体に破れ、ゴムの破損などがなく各部点検し異常がないか必ず確認してから収納してください。
- 洗剤を使用して洗濯する場合は、中性洗剤をご使用ください。漂白剤や強い汚れ落としの薬剤を使用すると本体の繊維やゴムを傷つけることがありますので、絶対におやめください。また乾燥しないでケースに収納した場合、本体の繊維を傷つけることがあります。